

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習IV		
担当者(Instructors)	杉谷 正次	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

<b>■授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>かつてわが国のプロスポーツは、現在のように世界的に注目を集めるまで育っていませんでした。しかし、近年日本のプロ野球選手がアメリカのメジャーリーグに移籍して活躍し、さらにJリーグなどでプレーした日本人選手がヨーロッパのプロサッカーリーグで活躍するなど、日本のプロスポーツも世界的に注目されるようになってきました。そこで、本演習では「スポーツビジネスを考える」を統一テーマに、各自が設定した研究テーマで卒業レポートを作成します。</p>			

<b>■授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークを積極的に取り入れ、ディスカッションをします。最終的には、各自が作成した卒業レポートの発表をしてもらいます。実施方法の詳細については、初回授業で案内します。

<b>■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	シラバスをもとに本演習の目的と内容、授業の進め方等について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	研究テーマの再検討	前期に設定した研究テーマ（卒業レポート）を再検討する。	<input type="checkbox"/>
第3回	研究テーマに関する研究(1)	研究テーマ（卒業レポート）に関する文献・資料・データを追加収集する。	<input type="checkbox"/>
第4回	研究テーマに関する研究(2)	研究テーマ（卒業レポート）に関する文献・資料・データを追加収集する。	<input type="checkbox"/>
第5回	研究テーマに関する研究(3)	研究テーマ（卒業レポート）に関する文献・資料・データを追加収集する。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究テーマに関する研究(4)	研究テーマ（卒業レポート）に関して追加収集した文献・資料・データについて再分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第7回	研究テーマに関する研究(5)	研究テーマ（卒業レポート）に関して追加収集した文献・資料・データについて再分析し、考察する。	<input type="checkbox"/>
第8回	研究テーマに関する研究(6)	再分析結果について、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第9回	研究テーマに関する研究(7)	各自が設定したし研究テーマで卒業レポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第10回	研究テーマに関する研究(8)	各自が設定したし研究テーマで卒業レポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第11回	研究テーマに関する研究(9)	各自が設定したし研究テーマで卒業レポートを作成する。	<input type="checkbox"/>
第12回	卒業レポート報告(1)	各自が作成した卒業レポートを順番で報告し、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第13回	卒業レポート報告(2)	各自が作成した卒業レポートを順番で報告し、全メンバーで討論する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究報告	研究報告をする。	<input type="checkbox"/>
第15回	総括	本演習を総括する。	<input type="checkbox"/>

<b>■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)</b>	
<p>事前学習（予習）として、文献・資料・データ収集などの調べ学習をする（毎回2時間程度）。また事後学習（復習）として、前回の授業の振り返りをする（毎回2時間程度）。</p>	

<b>■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)</b>	
---	--

提出された課題・卒業レポートや研究報告については、教員およびゼミ生相互で講評を行うなど、全体で共有する機会を持ちます。

### ■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019地域ビジネスDP2	スポーツビジネスを社会全体との関連で幅広く考察し、今後のスポーツビジネスのあり方などについて、他者に自分の考えを発信することができる。
主体性	◇ 2019地域ビジネスDP3	スポーツビジネスに関する様々な問題点を解決するなど、主体的に他者と協働して地域社会の活性化・発展に貢献できる。

### ■成績評価 (Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価については、提出された課題、卒業レポートの完成度、研究報告の内容をもって総合評価します。

### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	石川幸生・杉谷正次編著『現代スポーツビジネス』三恵社	
2	杉谷正次・石川幸生編著『現代スポーツマネジメント』三恵社	
3		
4		
5		